

2011 年 7 月 23 日(土)～24 日(日)

ちょっと写真で報告...ちくご子どもキャンパス「矢部川中流域の自然観察と体験 2011」

ちくご子どもキャンパス「矢部川中流域の自然観察と体験 2011」

今年も、ちくご子どもキャンパス体験学習プログラム「矢部川中流域の自然観察と体験 2011」は、大きな事故もなく、無事終了しました。

今回のプログラムは、最初に、福岡県赤十字血液センター献血推進課の方から「いのちの話」を聞いた後、様々な生き物の観察や自然体験の思い出を小石に描き、体験学習のまとめとして、「急性骨髄性白血病」を克服された山口絹江さんと骨髄提供経験が二度ある長直樹さんの対談や吉田祥吾さんと大石英雄さんのメッセージソングを聴いていただきました。

普段見ることの出来ない自然の中の小さな命とのふれあいや、矢部川中ノ島公園での水浴・川遊びを楽しみ、セミの羽化に感動し、メンバーと協力してのカレー作りや思い出を描くストーンペインティング、昼食のそうめん流しといった楽しく、貴重な経験が、今後の子ども達の活動に活かされていくことと思います。

これからも、私たち「まちづくりネットワークちくご」は、自然観察会や命の大切さを考える様々な催しを通じて、水と緑と命を大切にする自然豊かな筑後のまちづくりを進めていきます。

ちょっと写真で報告します。 かなり報告が遅れましたが…。





3月に開業したばかりの新幹線 JR 筑後船小屋駅前の からくり時計「つどいの木」の前に集合しました。



早めに来た子は、駅周辺を散策。展示してある船小屋の由来、昔の木製の船の周辺で遊び、会場に移動しました。



今回は、会場がお寺ということで、まずはみんなお手洗いや調理場など場所の確認。



初めて会う友達・スタッフに、みんな緊張の様子でしたが、レクリエーションを通して、だんだんうちとけていきました。





次に、暑い日差しの中、木陰の下でみんなでのこぎりやサンドペーパーを使ってみんなで竹を使ってマイ箸とマイ器づくりをしました。なかなかうまく作れませんがみんなで、一生懸命頑張りました。





その後、福岡県赤十字血液センターの方から、献血の大切さ・命のつながりの話を聞きました。



家から持ってきたお弁当を、中山公園で食べ、双眼鏡の使い方などを教えてもらって、自然観察をしました。いろんな虫や鳥や植物を観察し、観察ノートに記録しました。





船小屋では鉱泉場に行って試飲してみました。味はどうだったかな？明日のストーンアートのために、いろんなサイズの石拾いをして、そのあとは、川遊びを楽しみました。



河原で拾った小石を使ってストーンアートをつくりました。



みんなで銭湯に入浴しました。



初日の夕食は、カレー班とサラダ班に分かれて、包丁やピーラーを使って野菜をむいたり、切ったりしながら、みんなで協力してお料理をしました。屋外では、おばあちゃんの「釜炊き」をみんなで見て木をくべたりしました。



カレーの器は、午前中にみんなで作った竹のマイ器。いつもと違う器と自分達で作ったカレーは、美味しく何杯もおかわりしました。「釜炊き」ならではの、『おこげ』も楽しみました。二日目の昼は、そうめん流し、オクラやブドウも流れて楽しくお腹一杯になりました。



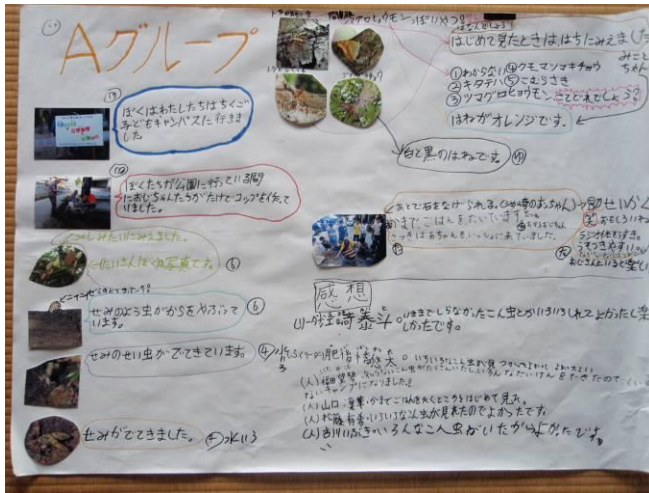
夜の観察では、セミの羽化を観ることができました。



眠たい目をこすりながら、みんなでラジオ体操。

拾ってきた石に、のりや絵の具を使いながら飾りつけをして台紙に貼りつけて、世界に1つだけのストーンアート作品を作りました。

班別に、生き物を観察した内容を模造紙にまとめて発表しました。



公園や川で出会った小さな命について、みんなで話し合っ一枚の紙にまとめました。書き出してみると、たくさんの生き物が周りにいることに気づきました。



体験学習のまとめとして、「急性骨髄性白血病」を克服された山口絹江さんと骨髄提供経験が二度ある長直樹さんの対談と大石英雄さんと吉田祥吾さんのメッセージソングを聴きました。





みんなで集合写真...、最前列には、思い出を描いた石を置いています。



みんなで後片付け、広い廊下や格子戸の雑巾がけをしました。



参加したみんなをお見送り…、気をつけて帰ってね。また、参加してね。

子どもたちが帰って、すぐに、真剣に反省会を行って、課題を出し合いました。